

重症化予防チームラウンド

チーム医療による医療の質向上への看護実践力強化

令和6年度看護実践力強化委員会の一つとして院内すべての部署に横断的にかかわる重症化予防チームが立ち上げました

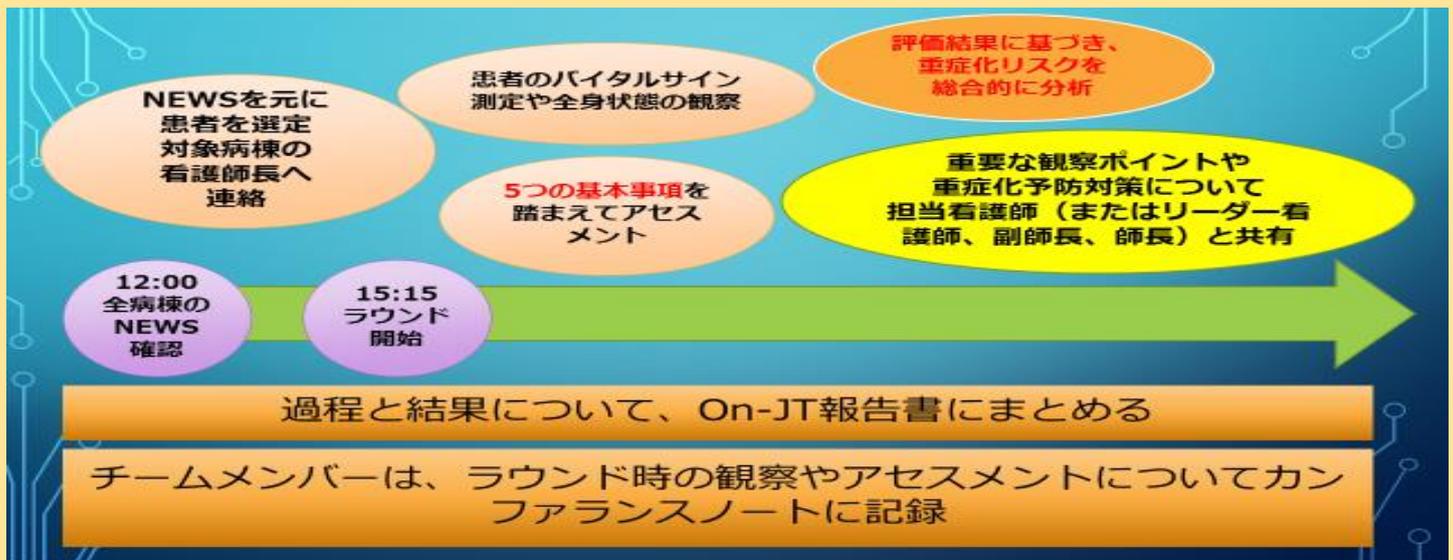
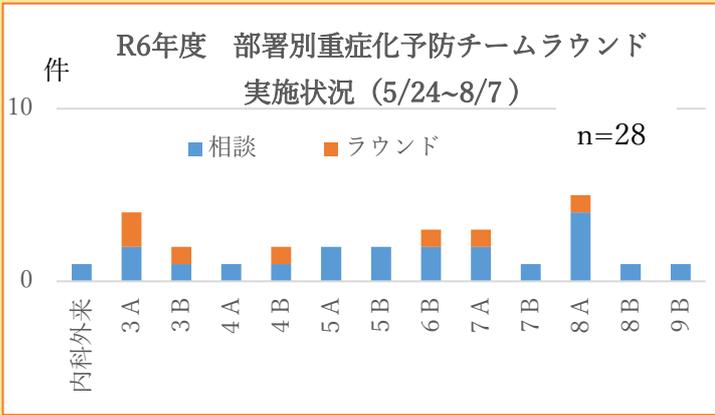
5つの基本的事項（起きる・食べる・排せつする・清潔にする・活動する）から患者のサインの意味を考え、気づきを相談に繋げられよう各部署のスタッフを支援する院内すべての部署に横断的にかかわることで患者の重症化を予防する

看護の視点でのフィジカルアセスメントを、患者を生活者として捉え、必要な看護ケアを検討する

ラウンド前カンファレンス



メンバー
専門看護師
特定認定看護師
特定看護師
RRSメンバー





病棟ラウンド



様々な病棟看護師と共に、目の前の患者さんの全身状態を観察し、アセスメントします。



重症化予防チームコメント

ラウンドで初めてお会いする患者さんなので、「今」だけではなく、経時的な変化を確認しながら客観的に多角的に状態を捉えることを意識しています。家族背景や自宅での生活などの情報は、病棟看護師と共有しながら重症化予防のためのケアを一緒に考えています。患者さんやご家族の困りごと、病棟看護師の疑問などにお答えできるように私達も学習や経験を積んでいきたいと考えています。



ラウンド記録・相談記録

ラウンドを受けての病棟の感想

ラウンドに来ていただき、患者の情報を細かくともに見てくれ、またカルテから現在の全身状態を考え、病棟が感じている問題をともに考えてくれる姿勢が大変心強く感じました。また、実際に患者のベッドサイドに行き、私たちが感じている問題点を患者の状態を踏まえて患者とともに話しながらかわりを検討してくれ、実践にすぐに生かせるラウンドだと感じました。ラウンドに来てもらったことで口数が少ない患者からも、これまでの闘病についての思いや、人生観などの話をしてくれラウンドそのものが患者にとっても、思いの表出の場になることが分かりました。気兼ねなく相談できるラウンドだと感じましたので、今後も全身状態を踏まえて 5 つの視点におけるかわりで困った際は相談させていただきたいと思いました。

トイレ時等に VT 出現する患者さんがいました。経過観察の指示はありましたが、重症化・急変するリスクがどの程度あるのか、何を注意して観察を行うことが必要なのか、日々不安がありました。重症化予防チームのラウンドで、カンファレンスを行い、不整脈の注意点や患者さんの日常生活習慣の見直しなど、一緒に話し合うことで看護として行うことが整理できました。行ってきた看護や観察に間違いはありませんでしたが、基本的なことをエビデンスのもと考えることができたことが不安の解消につながりました。